

ハガキ・FAX・メールによる質問意見

発言者	意見・質問	回答
鳥羽川上流部	<p>私は鳥羽川上流部の未改修区間で田を生計として暮らしています。鳥羽川上流部の被害は稲作と一部道路の冠水のみであり、今回の福井県の整備計画から除外されました。</p> <p>環境も大切ですが、私共農民にとっては、稲作経営が何より重要です。環境に費用を投資する前に河川の改修を先行し、民生の生活基礎を構築願いたい。北川水系の公平な整備のためにご配慮願いたい。</p>	<p>鳥羽川の管理は福井県となっております。今回の整備計画は、国の管理区間について策定します。環境配慮より河川改修を先行し、生活基盤を安定させる事を優先すべきとご意見として承りました。</p> <p>人の生活優先が自然環境保全優先かといった二者選択ではなく、治水・利水・環境のバランスのとれた整備計画(原案)を策定しました。頂きましたご意見を参考にによりよい整備計画となるようにしたいと思っています。</p> <p>なお、鳥羽川の管理者である福井県には、いただきましたご意見をお伝えします。</p>
瓜生(男性)	<p>北川は、綺麗(水質)な河川であるなら、例えば、土手に10M置きに土手の幅を広げ、木・花壇(住民の管理)を作り住民の散歩・ジョギングとして親しむ等、色々アイデアを取り入れ、将来は河川日本百選となるような事を考えてほしい。</p>	<p>花壇等の整備は、河川管理者は行いません。自治体で花壇等に利用する申請を行い、それを河川管理者が審査して問題がなければ許可します。</p> <p>北川周辺には豊かな地下水とそれを土壌とした歴史文化があります。北川自体も霞堤が残るなど他の河川にない特徴があり、既に「河川日本百選」に選ばれても不思議ではありませんが、濁水や瀬切れの問題が発生していることから、流域住民や河川利用者の意識向上が必要です。</p> <p>今後も北川がよりよい河川となるようご意見をいただけますようお願いいたします。</p>
新道(男性)	<p>新道付近の河床が2mほど上がっており、危険となっております。安全で安心して暮らせる北川水系整備計画をお頼み申し上げます。</p>	<p>新道付近は、福井県の管理区間となっております。福井県が策定している県管理区間の整備計画で、ご確認ください。</p> <p>貴重な情報提供ありがとうございます。新道付近の河川整備については、福井県が策定した整備計画で「支川の河内川にダムを建設し洪水調節を行い、それを河道に配分(ダムによる調節後の流量:440m³/s)します。」としています。なお、河道の状況について頂きました情報を福井県にお伝えします。</p>
大鳥羽(男性)	<p>毎年「鳥羽川を守る会」で小学生と共に魚類の調査を実施しております。鳥羽川は県の管轄ですが、本流の環境を守るには支流の環境も大事だと思います。国と県との連携で支流の保全も考えて下さり、浚渫等の働きかけをよろしくご願ひ申し上げます。</p>	<p>環境の保全については、北川に合流する水路等の連続性の確保において、実態を調査・把握し、指導を行います。</p>
新道(男性)	<p>洪水流下対策について、現在建設中の河内川ダムとの関係は、どのような位置づけをされているのか。</p>	<p>今回の整備計画は国が実施していく河川整備であり、その整備がおこなわれれば福井県の整備する河内川ダムによって得られる効果と併せて戦後最大規模の洪水に対処できると考えています。</p> <p>国が策定する整備計画には国が行う具体の施策とその効果を記述することから、福井県が実施する河内川ダムの効果は記述していませんが、河内川ダムの効果は、福井県が定める整備計画で策定され、公表されています。また、流域一体として作成した「北川水系河川整備基本方針」でも国管理区間の基準点である「高塚」地点での効果を記述しています。</p>
	<p>計画洪水流量は明示されていない。</p>	<p>整備計画期間における整備計画目標流量の設定は行っていません。ただし、北川にある重要な環境を保全し、利水への影響を配慮した掘削や水位低下方策を行うと、遠敷川合流点より下流の北川の流下能力は1,400m³/s程度となりました。</p>
	<p>ダム建設は着工以来、何年もたっているのに一向に進捗していない。計画策定にはまったく触れていない、疑問に思う。</p>	<p>河内川ダムは福井県が行う事業であるため記載がありません。今回の整備計画は国の管理区間について策定します。なお、河内川ダムの工事に関する事は、福井県の整備計画で策定され福井県のホームページ等で公表されています。国が策定する整備計画には、国が整備期間内に区が行う行為(工事や管理)とその効果(影響)について記述しています。</p>
	<p>北川には、多くの頭首工、床止工があるが、実効ある魚道の早急なる対応を望みます。</p>	<p>国土交通省が管理している床固工については、既に魚道を設置しています。その他の施設については、河川の連続性を確保するため、魚道が設置されていない頭首工、堰については、管理者には設置・改善の指導を行います。</p>

発言者	意見・質問	回答
堤 (男性)	堤防から川岸へ降りる階段をとところどころに作ってほしい。自動車で降りられるようにも。	河川管理者が行う階段等の整備は、河川管理上必要となる部分について実施しています。公園等の整備については自治体で階段等に利用する申請を行い、それを河川管理者が審査して問題がなければ許可します。また、自動車が自由に入れるようになると不法投棄など問題があり、河川管理をする上で必要な措置としてゲートを解放できませんので御理解をお願いします。ただし、河川の多様な利用を促進するため必要な整備について、関係自治体との調整、協議は行います。
	川岸に生息する生物名の表示を看板にして見やすいところに設置してほしい。	北川に生息・生育している動植物の調査を行っている「河川水辺の国勢調査」の結果については、ホームページで公表しています。看板の設置については、川岸ですと洪水流下時に流木やゴミなどがひっかかり、洪水の流下を阻害する可能性が非常に高くなります。一方、堤防ですと看板の基礎が堤防内に入ることになりますから、雨水を堤防内に浸透させ堤防を脆弱化させる恐れがあります。設置に関しては、治水上の問題となるため対応ができないことを御理解をお願いします。
	北川は上流に採石場が出来たため、鮎がいなくなったという人が多い。実態調査をしてほしい。	採石場については、滋賀県では、採石法の定めにより、土砂の流出防備、開発に伴う調整池等流出抑制対策等の審査のうえ、指摘の採石場について許可したもので、採石に伴い必要となる措置を講じた上で土砂の採取が行われていると認識しています。 また、アユの減少は、上下流の連続性を阻害している頭首工など、さまざまな要因が影響していることが考えられます。国の管理する堤床固工で平成11年に行った魚道調査では約1,000匹のアユが遡上していることが確認されています。アユに限らず、生物の生息繁殖環境に対する影響について継続的なモニタリングを実施します。
	学校の校歌に歌われている学校を対象に、北川に関する出前授業をしてほしい。	北川では、沿川の保育園・保育所を訪問し、河川愛護にちなんだ紙芝居を行い、園児に川の大切さを理解してもらっています。また、近畿地方整備局では、みなさんとの対話を重視したコミュニケーション型行政を推進するため、そして近畿地方整備局の事業や施策についてもっとみなさんに知っていただくとともに、みなさんのご意見やご要望などを聞かせていただくための場として、「出前講座」を行っています。
小浜市 (男性)	ダムに使うお金をもっと意味のある真の治水のために使って下さい。今までのような公共事業がつづいていると川も日本も滅びてしまいます。	河内川ダムは、福井県が建設しており、その決定は福井県の判断となります。国が定める整備計画に「ダム」の予定はありませんが、いただいたご意見は福井県の関係部署にお伝えします。
竜前 (男性)	霞堤の効果について数値を提示してほしい。	霞堤の貯留効果は、雨の降り方によって異なりますが、高塚地点において、約30m ³ /s程度です。
	河口に近い江古川の場合は、霞堤効果は少ないのではないか。	江古川の霞堤効果は、基準地点である高塚より下流に位置するため、検討はしていないため、不明です。 基準地点「高塚」より下流の霞効果は見込んでいません。
	浚渫による流下能力が増加する数値を提示してほしい。	遠敷川合流点より下流部では、計画高水位以下で概ね1400m ³ /sの流下能力の確保が可能となります。 現在の流下能力は、概ね1,000m ³ /sに対して、河床掘削後の流下能力が概ね1,400m ³ /sであることから、掘削による流下能力の増加量は概ね400m ³ /sとなります。
	意見交換会の説明資料の目次がおかしい。	説明資料の目次は整備計画(原案)の目次構成を説明したものであり、説明資料の目次ではありません。

発言者	意見・質問	回答
下吉田 (男性)	<p>下吉田地区では、冬水田んぼ農法で水稻耕作に取り組んでいます。冬水田んぼは、ワラから分解したアンモニア態窒素が土粒子に付着して流出しないため、河川へは窒素分が入らずに富栄養化を防止します。ぜひ流域の田は、冬水田んぼとなるように推進して下さい。</p>	<p>河川管理者が直接水稻耕作者に指導・指示することはできませんが、良好な水質の維持・向上に資するために、自治体等の関係機関の連携のもと設置されている「九頭竜川・北川水系河川水質汚濁防止連絡協議会」による水質汚濁の実態把握と防止対策として、各機関における水質改善対策の促進を実施します。 今後水質改善のための活動が広がり、活発となるよう期待しています。</p>
	<p>国富地区ではコウノトリの生息する田になるように、農家も環境保全型農業に取り組んでいます。豊岡の円山川のように餌が豊富となるような緩やかな流れの浅瀬を造ってください。</p>	<p>北川は川幅が狭く、急勾配であるため、円山川のような緩やかな流れの浅瀬は困難ですが、北川に流入する水路等との連続性を確保することにより、田がコウノトリの餌場になると考えられます。 みお筋の固定化による瀬・淵の減少に対処するため、瀬・淵が発生しやすい河川となるよう河床の掘削方法を工夫することで、より豊かな自然環境を目指します。</p>
	<p>子供の頃は白河原が広がっていました。残念ながら今は、ヨシなどが繁茂して、とても河原と呼べません。何とか白河原の回復の対策を計画してください。</p>	<p>水際のヨシは、鳥が水面で休憩するための遮蔽効果など、生息する動物の貴重な環境となっている場所もあります。河原の再生については、現在の河川環境を把握し、学識経験者などの意見を踏まえ実施したいと考えています。</p>
	<p>北川と鳥羽川の合流にあるラバーダムによって、魚の遡上ができません。北川と鳥羽川とは分断されている状態です。鳥羽川全線の魚の復活にはとても重要です。是非魚道を設置してください。</p>	<p>北川に流入する水路等の合流点において、魚類等の移動に支障のある施設について、関係機関と連携し物理的環境(水量や水質等)及び生息する魚類等の実態を調査・把握し、住民や学識経験者等の意見を踏まえながら魚道の設置・改善指導を行います。</p>
	<p>20年前には、北川の魚は豊富でした。流域の森林の植生の変化でしょうか。水も少なくなったようです。流域の森林保全の手入れ、落葉樹の植樹の地域運動を推進してください。</p>	<p>森林の変化に伴う魚や水量の因果関係については不明です。九頭竜川では、進捗状況を報告しながら今後を話し合う場を流域懇談会という名称で継続しています。北川でも今後を話し合う場を設け、森林の保全については、議論したいと考えています。 なお、河川管理者に森林の保全育成に関する権限がないことから、いただいたご意見は福井県の関係部署にお伝えします。</p>
	<p>堤防には管理用に関係者以外侵入防止のゲートが設置されています。堤防は、散歩やジョギングルートには最適です。是非ともゲートを開放してください。</p>	<p>堤防天端はジョギングやサイクリング、散歩など、広く利用していただける空間です。但し、ゴミの不法投棄がみられる等、管理上必要な箇所にはゲートを設置しておりますのでご理解願います。</p>
若狭町 (男性)	<p>若狭町の水道計画は、北川の水を三方地域へもっていくという方針が盛り込まれているという話です。北川に水利権を持つ我々(農業者)には、一言の説明も協議の場もありません。既得権益を持つ我々の同意なしに、計画が強行されるのであれば、一致団結、法的手段も含め対抗策を考えなければなりません。ご指導をお願いいたします。</p>	<p>今回の河川整備計画は国管理区間に関するご意見とさせていただきます。ご要望の内容は、国が策定する河川整備計画との関連がありませんので、河川管理者から指導できるものではありません。頂きましたご意見は、若狭町にお伝えすることもできますが、直接若狭町にご質問くださるのが最良と思います。</p>